

# 霧立山地の自然体験推進フォーラム

テーマ: 自然体験とインタープリテーション  
—人間性回復と持続可能な社会の構築に向けて—



日時 平成20年5月10日(土)～11日(日)  
場所 向坂山森林公園

## 目的

九州脊梁山地の東部に位置する霧立山地は、北に中央構造線、南に仙像構造線が南西に連なる古生層地帯で南部秩父累帯に属します。山体はチャートや石灰岩により浸食から切り立った山頂や深いV字谷を形成しています。

付近一帯はブナ帯で、天然林も多く残されており、カモシカ、ヤマネなどの稀少哺乳類やクマタカ、ホシガラスなど稀少鳥類の生息が見られます。植生は、南部秩父累帯特有の襲速紀要素を持ち、その特徴が著しい白岩山は昭和17年(1942)に「白岩山石灰岩植物群落地」として県の天然記念物に指定されています。

霧立山地の主峰「向坂山」(1684m)からは、南に霧島、北に阿蘇・九重、西に雲仙普賢岳、東に祖母・傾山等、九州の主要な山々が一望でき、その北東斜面には平成2年、五ヶ瀬町において向坂山森林公園事業としてスキー場が開設されました。

このスキー場から南に伸びる尾根には、椎葉に通じる霧立越の古道「駄賃付道」があり近年はトレッキングコースとして活用されています。同様に、北に伸びる尾根は熊本県山都町に通じる小川岳トレッキングコース、西に延びる尾根は太平洋と日本海の分水嶺をいく三方山トレッキングコースとなっており、更には、白岩山の植物群落地、水呑の頭のシャクナゲ大群落地、木浦谷の幻の滝、日肥谷のガゴが岩屋、化石の森など、全て向坂山森林公園からそれぞれのルートに繋がっています。

こうしたことから、向坂山森林公園を拠点として霧立山地の豊かな自然や民俗文化等を内包する資源の保護活動と共に専門的知見に基づいて、自然体験や環境教育の場として活用し、もって自然への理解を深め、地域の振興と併せて国民の保健保養に資することを目的とします。

第一日目 5月10日(土)  
会場 向坂山森林公園  
集合場所 カシバル峠パーキングセンター



森林公園遊歩道体験(平成19年度、森林景観整備事業により整備された向坂山森林公園遊歩道を体験します)(09:00)～(09:30)受付(カシバル峠Pセンター)/(09:30)～(09:45)〈オリエンテーション〉/カシバル峠Pセンター(09:50)→徒歩→(10:10)ゴボウ島→徒歩<ウッドチップ歩道体験>→(10:40)日肥峠→徒歩→(11:30)向坂山(11:40)→徒歩→(12:00)スキーセンター <昼食>

13:00～13:20  
13:30～14:45

開会行事  
基調講演  
演題 「森林環境教育とプログラムの実際」  
講師 増田直広氏((財)キープ協会環境教育事業課長)

14:45～14:55  
15:00～17:00

コーヒープレイク  
パネルディスカッション  
テーマ 「霧立山地の魅力と活用を語る」  
■パネリスト



南谷忠志氏(宮崎植物研究会会長)  
白池 凶氏(宮崎土地分類基本調査研究会)  
坂元英俊氏(阿蘇地域振興デザインセンター事務局長)  
柳田剛一氏(ANA 派遣・高千穂地域再生マネージャー)  
山部哲経氏(宮崎北部森林管理署長)



■アドバイザー  
増田直広氏((財)キープ協会)  
■コーディネーター  
秋本 治(霧立越の歴史と自然を考える会)



17:10～ 閉会 (17:20)スキーセンター⇒☎⇒(17:30)カシバル峠

第二日目 5月11日(日)  
集合場所 カシバル峠パーキングセンター  
白岩山・霧立越山開きに参加

(8:00～8:20)受付 (8:30)神事(9:00)→徒歩→(9:20)ゴボウ島→徒歩→(9:40)日肥峠→徒歩→(10:10)白岩山→徒歩→(11:40)馬つなぎ場<中食>(12:30)→徒歩→(14:00)山小屋(14:20)→徒歩→(15:00)扇山山頂(15:10)→徒歩→(16:30)内の八重林道⇒☎⇒(17:20)やまめの里⇒☎⇒カシバル峠パーキングセンター解散

準備するもの 履物:トレッキングシューズ又は登山靴等。スパッツ、帽子、雨具、手袋、タオル、リュック、水筒、弁当。

## お申し込み・お問い合わせ

〒882-1201 宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡 4615 番地 やまめの里内  
霧立越の歴史と自然を考える会事務局 TEL0982-83-2326 FAX0982-83-2324

主催 「自然体験推進フォーラム」実行委員会・霧立越の歴史と自然を考える会  
後援 五ヶ瀬町役場・椎葉村役場・山都町役場・宮崎北部森林管理署・宮崎県